ニュースレター 6月

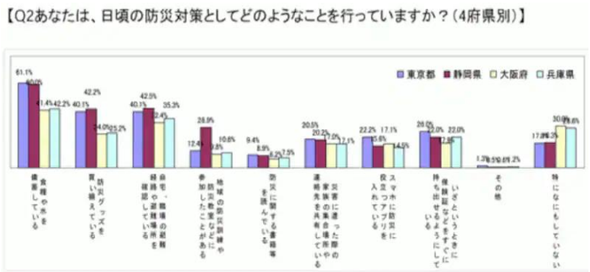
2023. 6. 1発行

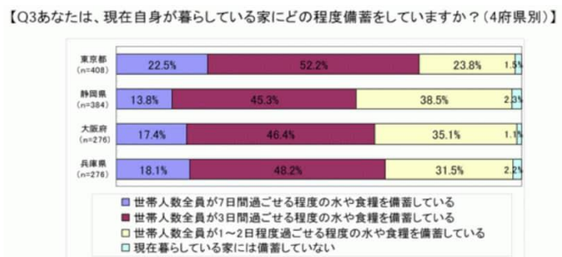
今月は備蓄品収納リフォーム！災害時の水や食料はどこに置く？についてお届けします。

意識調査で見えてきたもの。それはいざという時のための水や食料など、災害用の備蓄品の収納スペースの問題です。
持て余している住宅のスペースを再活用リフォームしましょう。

↑
HPのお問合せはこちら

1、日頃行っている防災対策1位は食料や水の備蓄





「あなたは、日頃の防災対策としてどのようなことを行っていますか？」という問いに対し、多くの人が、食料や水を備蓄していると答えています。また備蓄している人に、「どの程度の備蓄をしていますか？」と聞いたところ、3日分と答えた人が一番多く、3～7日分の備蓄をしている人が半数以上を占めるという結果になりました。

さて、これらの備蓄品は、どこに収納すればいいでしょうか？ここで注意しなくてはならないのは、ここでの「備蓄」とは、災害時に遮断されていたライフラインがある程度復旧するまでの間に使う食品や水のこと。
懐中電灯やラジオなどの防災グッズや、少量の水や乾パンを入れる「非常用袋」とは別であるという点です。

2、「備蓄」と「非常用袋」は、使用するタイミングも収納場所も違う

「備蓄」と「非常用袋」は、使用するタイミングが違うため、
収納場所も違ってきます。

「防災」ガイドによると、すぐに持ち出すための「非常用袋」は玄関に、
「備蓄」はキッチン、納戸など置けるところに分けておくのが良いとのこと。

玄関や寝室には、とっさに避難するときの非常持ち出し袋や防災グッズを、
キッチンには水や備蓄食品を中心にストックするというのが、
まっさきに思い浮かぶ考え方です。

ここで気になるのが、備蓄や防災グッズを用意していない人が挙げた理由として意外に多かったのが、
置く場所がないからというものです。確かに3～7日分の水や食料となると場所も取りますし、
今までは備蓄のために収納を作るという発想自体が、あまり無かったからかもしれません。

3、リフォームの収納計画では備蓄品用のスペースを忘れずに取る

3.11の震災では、備蓄の大切さを身に染みて感じた人も多かったかと思います。
今までは、何となく備蓄していた水や食品類を、もっと現実的なものとして受け止めるようになった
人も多いのではないでしょうか。

水や食料を3～7日分となれば、ある程度の収納スペースを確保する必要があります。
今後のリフォームの収納計画では備蓄品用のスペースを忘れずに取っておくことが大切になってきます。

4、持て余していたスペースを備蓄品スペースとして再活用リフォーム

非常用袋は玄関か寝室のベッドの脇というように、さっと取り出せる位置であること。
これは鉄則です。それに比べて備蓄品の特徴としては以下のようなものがあげられます。

・普段の使用頻度は低い

・落ち着いてから出せばいい

・1年に1度は賞味期限を確認したい

・食品類の変質を防ぐため高温になる場所は避けたい

収納リフォームの基本は、使用頻度が高いモノは出し入れしやすいように作ることです。備蓄品の使用頻度を考えると、
出し入れのしやすさを考える必要はそれほどはありません。となると、今まで出し入れし辛く持て余していたスペースこそ、
備蓄品の収納スペースとして再活用していけばいいことがわかります。

5、冷暗所としての環境を保ちやすい床下収納庫は大活躍

冷暗所としての環境を保ちやすい
床下収納庫は備蓄品収納スペースとして大活躍

出し入れし辛く、普段使いとして使いにくい収納は、極端に低いもしくは高い位置にある、
ひと目で中が見渡せない、手が届きにくいなどのものです。例えば、床下収納庫、
吊戸棚や天袋、屋根裏や天井裏収納など。自然な動作領域から外れた位置にある収納は、
普段使いには向きません。

そんな場所にスペースがあったら、備蓄品専用のスペースとして考え直してみましょう。
デッドスペースにしていたり死蔵品を入れっぱなしにしておいたりするより、
備蓄品庫として活用すれば、災害時に役立つスペースに生まれ変わります。

ただし注意しておかなくてはならないのは、食品を長期間保存する場所ですから、高温になる場所は向いていません。
特に屋根裏は夏場にとても暑くなりますので、屋根裏を活用する場合は、忘れずに断熱リフォームと
換気設備の取り付けをしておきましょう。

6、マンションでも意外な場所に備蓄品スペースが作れる

マンションのトイレの天井裏にボックスを取り付けて
備蓄品収納スペースとしていた事例です。
マンションでは天井裏は使えないと思いがちですが、
トイレや洗面所の天井裏にはダクトスペースとして、
空間があります。そこを活用した事例でした。

収納リフォームを計画する際に、備蓄品収納スペース
を作るという視点を加えれば、まだまだたくさんの
アイデアが出てくるはずです。収納リフォームの際
には、備蓄場所を含めた計画で進めていきましょう。

・土　木
・建　築
・リフォーム

株式会社　渡　辺　組
本社　海津市海津町高須町720-1
0584-53-0174
E-mail:info@watanabegumi-kaizu.com
URL http://www.watanabegumi-kaizu.com/

*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。
何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なく
お申し付け下さい。
皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。